

## PCB を含む廃棄物の焼却実証試験の実施について



環境省は、関係自治体の協力を得て PCB を含む廃棄物の焼却実証試験を実施することを発表しました。

PCB を使用していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量の PCB が混入した絶縁油を含むものが大量に存在することが判明しており、環境省はこれらの処理体制の整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等において微量 PCB 汚染廃電気機器等が安全かつ確実に処理できることを確認してきました。

その内容については、以下の通りです。

### <概要>

- 実施場所:株式会社クレハ環境(福島県いわき市)
- 実施期間:平成 24 年 6 月 5 日(火)~6 月 7 日(木)
- 実施内容:株式会社クレハ環境において、PCB を含む有機顔料、化学製品製造過程の副生成物、防護具等、廃酸及び廃アルカリを焼却し、処理後の燃え殻、ばいじん、排ガス、排水及び周辺大気等の PCB 濃度等を分析することにより、周辺環境に影響を及ぼすことなく安全かつ確実に処理されていることを確認。焼却は、燃焼ガスを 1,100℃以上に保ちつつ、2 秒以上滞留させて実施。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っておりますので、是非お任せ下さい。

資料 2012 年 5 月 31 日付 環境省報道発表資料

衛生技術箇所 五月女欣央